

春の日に妙技ゴルフの腕前を  
競ひし友の姿なつかし

令和六年三月十二日

大中臣正比呂



郷里の山の洞窟探検で帰ってこないとお触れが出て、暑い夏休みの日に  
集合が掛かった。二つ向こうの小路に住む医者の子も一緒だと聞く。  
何があったのか良く分からぬ間に、体操部の筆者にもお呼びが掛かったのだが、  
程なくして事件は解決して、捜索には行かずに済んだ。

もう半世紀以上の昔の話だが、無事に帰ってきた高校生達は、それから  
自身の命を社会に置いて、務めを果たしたのさ。

天山や背振の山々を見ると、鍾乳洞は無いにしても探検心は我にも湧く。